

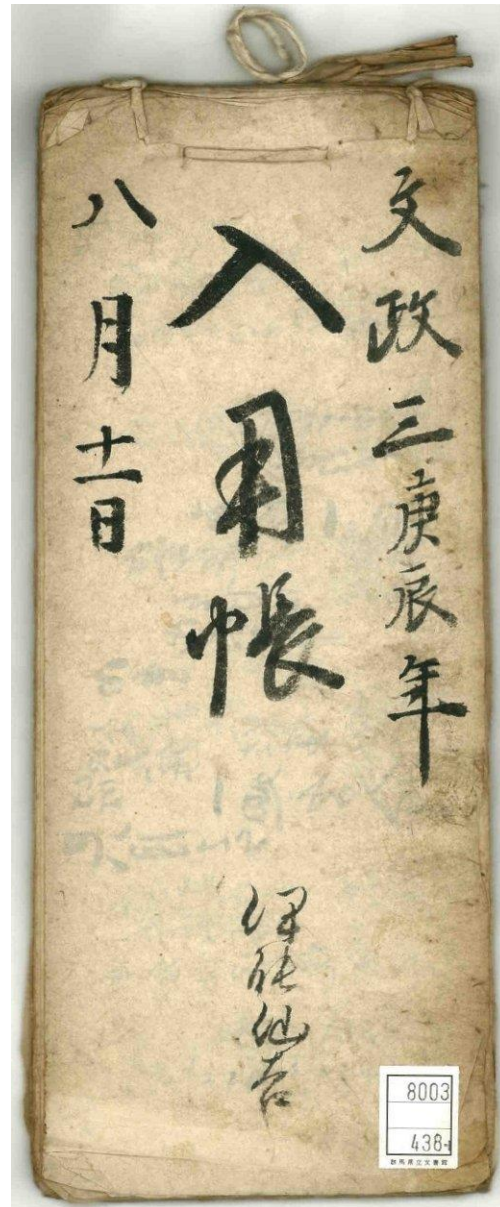
③⑥ 入用帳 (伊能仙吉葬儀)

文政3年 (1820) 8月11日

この史料は、江戸時代の吾妻地域で行われた葬儀における必要経費の書き上げ帳です。葬儀に際し、檀那寺だんなに白米や蕎麦、また布施として南鐻なんりょう二朱銀一片を納めたことが記されています。また、購入品は、早桶はやおけ (簡易なつくりの棺桶) にはじまり、葬具の材料と思われる紙や糸の他、死に装束として使われたであろう草鞋わらじ、霊前や会葬者に供されたと思われる饅頭や菓子など多岐にわたります。この史料からは、江戸時代の村落における具体的な葬儀の様子が窺えます。

伊能光雄家文書 P8003 No.438-1

(吾妻郡東吾妻町岩井)



③⑥ 入用帳 (伊能仙吉葬儀)

〔釈文〕

文政三庚辰年
(二八二〇)

入用帳

伊能仙吉

八月十一日

辰

八月十一日子刻死去

西刻葬式

蓮台拵四十九院紙ニ而致ス
引廻もみ切也

巳八月十三日

一廻季入候

法事上ル

御寺

白米壹斗

御布施

南鐮一片

式百文

是者御出家様

御寺方御老人も御出無レ之候

行年

辰

八月十一日子刻死去

同日 西刻死葬式

蓮台拵四十九院紙ニ而致ス

引廻もみ切也

巳八月十三日

此時 一廻季入時ニ

法事上ルいたし候

御寺

白米壹斗

御布施

南鐮一片

式百文

是者御出家様

御寺方御老人も御出無レ之候

行年



早桶代
原金三郎殿
九柳

源三郎殿

酒蔵代
源三郎殿

延紙代
次郎左衛門殿

平助殿
江

酒代

八月十一日

一五百文

早桶代

原金三郎殿

相払

一百三十文

(草鞋)
わらし代
酒蔵へ払

一四拾五文

延紙代
次郎左衛門殿へ払

一五拾六文

縄代
平助殿_江払

一五拾五文

しいたけ
代

一五拾九文

酒代



一七拾三文

大戸行

小夫

伊八

菊次郎

一百文

まんじう
(饅頭)

一百文

畑いも

一十六文

あんとく紙

一貳拾八文

しやうしやう
(狸々)
のり

一拾貳文

紙尾
(緒)
(草履)
ぞうり

一十六文

くわし
(菓子)

一 式拾三文 菜葉

一 式拾三文 なは代

一 三拾式文 唐茄子

一 三拾式文 とうなす

一 三拾式文 同代

一 三拾式文 同代

○ 八月十一日 植栗村店

一 式百廿四文 のへ式百枚

一 式百六拾三文

一 式百六拾三文 さらし壺反七尺

一 式五拾文 せん香

一 式五拾文 せん香

一 式六拾四文

一 式六拾四文 かうろ

一 式百三拾六文

一 式百三拾六文 らうそく

一 式五拾文

一 式五拾文 ひさく式本

(後略)